

スピーキング活動の目標設定、及び活動内容、評価における工夫について

■スピーキング活動における目標設定；次の3つの目標を立てるとよい。

- ①英語で事実を述べることができる（自己紹介、Show & Tell、スピーチ等）
- ②英語で自分の気持ちを述べるができる（読書感想、スキット等）
- ③英語で自分の意見や考えを述べるができる（新聞記事レポート、ディベート、ディスカッション等）

■どのようにスピーキング活動を工夫して実施すればよいか

- ①生徒にとって身近で、興味・関心・意欲を高めるようなタスクを設定する。必然性・具体性・自己関連性・自由度のあるテーマ・タスクを選択する。

- ②生徒主体の活動にする

自己表現活動の中で生徒に選択する機会を与える。主にスピーチ・スキット・プレゼンテーション・インタビュー・ディベート等は効果的である。

- ③反復性・計画性を持たせる

単発の活動でなくは継続的・計画的に行う。定期テストごとに新しい授業計画と実技テストの内容を生徒に示し準備させる。

■どのように生徒の自己表現力を評価すればいいか

- ①生徒に達成感を与える評価

評価の基準を明確に示し、適切な評価を与える。生徒が友達の評価をしたり、自己評価できるようにする。授業中のすべての生徒の発表（自己表現活動）は、実技テストとして評価に入れる。定期テストでは、自己表現活動に関連した内容をペーパーテストで出題し、評価に入れる。発音、内容、流暢さ、表現力を中心に発表の前に基準を示し、優秀者には手作りの賞状を渡す。生徒の意見も反映させる。

- ②作品の保存（ポートフォリオ）

生徒に自分の作品をファイルさせ、定期的に点検し、アドバイスやコメントを与える。

